

個人投資家向け情報提供

1. 評価対象企業（30 社）

大和ハウス工業、明治ホールディングス（新規）、アサヒグループホールディングス、キリンホールディングス、J. フロント リテイリング（再対象）、T I S（新規）、日産化学（新規）、積水化学工業（新規）、野村総合研究所、中外製薬（新規）、オリエンタルランド、ENEOSホールディングス、日本製鉄（新規）、丸一鋼管（再対象）、メドピア（新規）、小松製作所、ダイキン工業、セガサミーホールディングス（再対象）、オムロン、SUBARU、豊田合成、オリンパス（再対象）、三井物産、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、東京海上ホールディングス、日本航空、ANAホールディングス、日本電信電話、東京瓦斯

（証券コード協議会銘柄コード順）

2. 評価方法等

(1) 評価対象企業の選定

- ① 優良企業選定の評価対象企業は、本年度のディスクロージャー優良企業選定対象である各業種（18 業種）および新興市場銘柄についての選定結果において、各業種等の上位 1 割（評価対象企業の数で 10 で割った数（小数点第 1 位を切上げ））のうち、2019 年 7 月から 2020 年 6 月までの間において、「個人投資家向け会社説明会」を開催した 30 社とした。
- ② 本年度の評価対象企業の内訳は、前回に引き続き対象となった企業 19 社、前々回以前に対象となり本年度再び対象となった企業（再対象企業）4 社、新規企業 7 社となっている。

(2) 評価分野の構成

評価分野	本文中の略称	評価項目(注 1)数	配点
①個人投資家向け会社説明会の開催等	個人投資家向け会社説明会	4	21
②ウェブサイトにおける開示等	ウェブサイト	9	61
③事業報告書等（注 2）の内容	事業報告書等	3	18
計		16	100

（注 1）評価項目の内容および配点は 157 頁参照。

（注 2）直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、分かりやすい解説を行っている IR 関連資料（事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等）の中で、会社側から提示されたいずれか 1 種類。

(3) 評価方法

評価項目（16 項目）のうち、個人投資家向け会社説明会の開催の有無等 5 項目についての評価は、各評価対象企業にアンケート調査を実施し、その回答結果を基に評点を付した。残りの 11 項目の評価は、ディスクロージャー研究会「個人投資家向け情報提供専門部会」の委員（15 名）が行い、最終評価は両者の評点を合算して行った。

3. 評価結果

(1) 総括（個人投資家向け情報提供における評価比較総括表（156 頁）参照）

本年度の評価対象企業には、新規企業と再対象企業が含まれており、また、昨年度評価対象企業であったも

の、本年度対象から外れた企業もある。このため、昨年度（評価対象企業 29 社）と同列には比較できないが、本年度の総合評価平均点は 77.9 点（昨年度 75.4 点）となった。その内訳は、評価点 80 点台が 18 社（昨年度 12 社）、70 点台が 8 社（昨年度 11 社）、60 点台が 3 社（昨年度 2 社）、60 点未満が 1 社（昨年度 4 社）となった。

3 つの評価分野の平均得点率（評価対象企業の平均点／配点〈以下省略〉）を見ると、**個人投資家向け会社説明会**が 71%（昨年度 69%）、**ウェブサイト**が 80%（昨年度 77%）、**事業報告書等**が 78%（昨年度同率）となり、**個人投資家向け会社説明会**および**ウェブサイト**が昨年度をやや上回った。

(2) 評価対象企業に対するアンケート結果を基にした評価

- ① 評価対象企業へのアンケート結果を基に評価した 5 項目について見ると、**個人投資家向け会社説明会**に関しては、昨年 7 月から本年 6 月までの 1 年間の平均開催回数は、5.7 回（昨年度 9.0 回）、経営トップが説明を行っている企業は、対象企業 30 社中 11 社（37%）で、その割合は昨年度（45%）を下回った。
- ② 個人投資家向け会社説明会の内容をウェブサイトに掲載している企業は 23 社（77%）で、昨年度（22 社（76%））をやや上回った。23 社の内、配布資料に加え動画または音声配信により視聴できる企業は 12 社（52%）で、昨年度（18 社（82%））に比べ減少した。
- ③ ウェブサイトに関しては、独立した個人投資家向けサイトを設けている企業は 27 社（90%）で、昨年度（27 社（93%））に比べ減少した。
- ④ 「各種説明会（個人投資家向け説明会を除く）の内容が、ウェブサイトに掲載されて誰でも閲覧できること」については、全社が対応できていた。対応状況として、動画または音声で視聴できる企業が 28 社（93%）〔昨年度 26 社（90%）〕、資料のみ掲載の企業が 2 社（7%）〔昨年度 3 社（10%）〕となっており、昨年度に比べ、資料のみ掲載の企業がやや減少し、動画または音声で視聴できる企業がやや増加した。

(3) 専門部会委員による評価

専門部会委員は、ウェブサイト等における開示内容が一般投資家に理解できるように具体的に分かりやすく説明（記載）されているか、また、利用しやすいように工夫がされているかといった観点から、11 項目について評価を実施した。その結果、11 項目中 8 項目（(a), (b), (c), (d), (e) ii, (e) iii, (f), (i)）において平均得点率が昨年度を上回り、1 項目（(e) i）が同率、2 項目（(g), (h)）がわずかに下回った。

【個人投資家向け会社説明会】

- (a) 「ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、分かりやすく（一般投資家に理解できるように）、かつ充実していますか」（平均得点率 73%〔昨年度 60%〕）（参考）個人投資家向け会社説明会の内容がウェブサイトに掲載されている企業（23 社）のみの平均得点率 81%〔昨年度 79%〕

【ウェブサイト】

- (b) 「IR に関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていますか」（平均得点率 86%〔昨年度 82%〕）
- (c) 「個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていますか。また、IR 情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか」（平均得点率 78%〔昨年度 70%〕）（参考）上記（(2)③）の独立した個人投資家向けサイトを設けている企業（27 社）のみの平均得点率 80%〔昨年度 76%〕
- (d) 「事業内容（主力商品、主力サービス等）や業界動向が具体的に分かりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 81%〔昨年度 79%〕）
- (e) 「ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料（個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む）について」

- i 「業績の動きが、具体的に分かりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平

均得点率 80% [昨年度同率])

- ii 「業界動向が、分かりやすくまとめた資料を掲載するなど、具体的に分かりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 74% [昨年度 69%])
 - iii 「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題（ESG 情報を含む）等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく（一般投資家に理解できるように）説明されていますか」（平均得点率 79% [昨年度 76%])
- (f) 「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答 (FAQ) は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、分かりやすいですか」（平均得点率 74% [昨年度 68%])

【事業報告書等】

- (g) 「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか」（平均得点率 79% [昨年度 80%])
- (h) 「経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていますか」（平均得点率 77% [昨年度 78%])
- (i) 「業績の動きが分かりやすく（読み手が理解しやすいように）説明されていますか」（平均得点率 79% [昨年度 76%])

(4) 上位 3 企業の評価概要

第 1 位 野村総合研究所（ディスクロージャー優良企業 [初受賞]、総合評価点 85.9 点 [昨年度比+1.7 点])

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会が第 1 位(得点率(以下省略)95%)、ウェブサイトが同得点第 3 位(84%)、事業報告書等（「NRI だより」(注)）が第 11 位（82%）となった。
(注) 評価者の中には、ウェブサイト掲載の「統合レポート 2019」を基に評価した者もいた。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全 3 項目）が共に満点評価となったことに加え、「ウェブサイトに掲載されている説明会の内容が、分かりやすく、かつ充実していること」も最も高い評価となり、この分野において第 1 位となった。これに関し、2020 年 2 月に開催された説明会の動画およびプレゼンテーション資料によると、同社の代表取締役専務執行役員が「個人投資家の皆さまへ」と題して、同社の強み、成長に向けた取り組み、数値目標・株主還元、サステナビリティ経営への取り組みについて説明を行ったが、ビジネスモデルを分かりやすく説明しているとの声や、具体的なユーザー名の提示が視聴者の理解に役立つとの声も寄せられた。
- ③ ウェブサイトにおいては、掲載されている各種説明会資料について、「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題（ESG 情報を含む）等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく説明されていること」が最も高い評価となった。これに関し、数値目標や定性目標が簡潔で分かりやすいとの声や、成長分野のクラウド戦略やビジネスプラットフォーム戦略が図表で分かりやすく解説されているとの声に加え、ESG の取り組みについて詳細なレポートがあり、理解が深まるとの声も寄せられた。また、「業績の動きが具体的に分かりやすく説明されていること」についても第 1 位と僅差であった。これに関し、業績の動きのグラフが簡潔で分かりやすく、セグメント情報も掲載されているとの声や、新型コロナ関連の影響について、取引先の動向を含め解説しているとの声が寄せられた。さらに、「事業内容（主力商品、主力サービス等）や業界動向が具体的に分かりやすく説明されていること」が同得点第 4 位となった。
- ④ 事業報告書等においては、「全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていること」が同得点第 4 位となった。これに関し、図表があり理解しやすいとの声や、一年間のトピックスにより当社の具体的な取り組みを把握することができるとの声に加え、「価値共創を通じた持続可能な未来社会づくり－NRIらしい 3 つの社会価値－」の内容が興味深いとの声も寄せられた。

第 2 位 三井住友フィナンシャルグループ（ディスクロージャー優良企業〔初受賞〕、総合評価点 85.0 点
〔昨年度比+0.1 点〕）

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会が第 6 位（87%）、ウェブサイトが第 2 位（85%）、事業報告書等（「SMBC GROUP REPORT 2020」）が同得点第 8 位（83%）となった。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全 3 項目）の内 2 項目が共に満点評価となったことに加え、「説明会の内容が、分かりやすく、かつ充実していること」が同得点第 8 位となった。これに関し、2019 年 10 月に開催された説明会のプレゼンテーション資料によると、同社の取締役執行役専務グループ CFO が「SMBC グループの経営戦略」と題し、同社の特長・強み、成長戦略、株主還元強化への取り組み、ESG について説明を行ったが、強みをしっかり数値やグラフにより説明しているの、分かりやすいとの声や、コーポレートカラーを使い、見やすくする工夫がされているとの声が寄せられた。
- ③ ウェブサイトにおいては、掲載されている各種説明会資料について、「経営目標・経営戦略が、会社の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題（ESG 情報を含む）等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく説明されていること」が第 1 位と僅差であった。これに関し、経営戦略について個人投資家向け説明会資料に分かりやすく記載されているほか、中期経営計画やサステナビリティのコーナーでも詳細に説明されているとの声が寄せられた。また、「業績の動きが具体的に分かりやすく説明されていること」についても上位と僅差であった。これに関し、業績の要因分析が示されているほか、業績ハイライトも設けられているので、理解が深まるとの声や、新型コロナ関連の影響について記載されているとの声も寄せられた。さらに、「個人投資家向けサイトが、探しやすさ・画面構成にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていること、また、IR 情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること」および「事業内容（主力商品、主力サービス等）や業界動向が具体的に分かりやすく説明されていること」が共に同得点第 4 位、「ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答（FAQ）が、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、分かりやすいこと」が同得点第 2 位となった。これらに関し、個人投資家向けサイトの画面構成、イラストが工夫されているとの声や、業績や強みについて視覚で直感的に理解できるとの声に加え、同サイトのトップページに配置された FAQ は、グループ概要、財務・IR 情報、株式情報に関する質問・回答が充実しているとの声も寄せられた。
- ④ 事業報告書等においては、「業績の動きが分かりやすく説明されていること」がトップと僅差の同得点第 4 位となった。これに関し、全体と各事業部門を説明する構成で分かりやすいとの声や、図表と大文字数値を組み合わせ、視覚的との声も寄せられた。また、「経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていること」が第 7 位となった。これに関し、新中期経営計画の基本方針が分かりやすくまとめられているとの声や、新型コロナウイルス感染症への対応や業務に与える影響の記述がタイムリーで、経営戦略についてスピード感を持って示していることは評価できるとの声も寄せられた。

第 3 位 東京海上ホールディングス（ディスクロージャー優良企業〔初受賞〕、総合評価点 84.3 点〔昨年度比
+4.6 点〕）

- ① 同社は、個人投資家向け会社説明会が第 5 位（89%）、ウェブサイトが同得点第 11 位（83%）、事業報告書等（「統合レポート 2019」（注））が同得点第 4 位（84%）となった。
（注）評価者の中には、評価実施期間中に発行された「統合レポート 2020」を基に評価した者もいた。
- ② 個人投資家向け会社説明会においては、評価対象企業に対するアンケート項目（全 3 項目）が共に満点評価となったことに加え、「ウェブサイトに掲載されている説明会の内容が、分かりやすく、かつ充実していること」が同得点第 19 位（76%）となった。これに関し、2019 年 9 月に開催された説明会のプレゼンテーション資料によると、同社の取締役社長グループ CEO が「東京海上グループの経営戦略」と題し、同社の歩み、グループ経営戦略、株主還元について説明を行ったが、同社の業績、成長戦略、株主還元、ESG とバランスのとれた内容で、初めての投資家にも分かりやすいとの声が寄せられた。
- ③ ウェブサイトにおいては、「個人投資家向けサイトが探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていること、また、IR 情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していること」が最も高い評価となった。これに関し、個人投資家が知りたい内容を配列し、中期経営計画、業績ハイライト、配当方針等を分かりやすく説明しているほか、メールの配信登録も見つけやすいとの声が寄せられた。また、ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料において、「経営目標・経営戦略が、会社

の強み（業界シェアや他社との差別化等を含む）や課題（ESG 情報を含む）等を踏まえて、具体的にかつ分かりやすく説明されていること」が同得点第 7 位となった。これに関し、国内の賠償責任や労災保険が成長余地のある市場で、業界トップであることを強調し、また、海外市場の取り込みも進んでいることを説明している点を評価する声や、ポートフォリオの分散やテクノロジーの活用等の重要課題について、解説していることを評価する声が寄せられた。

- ④ **事業報告書等**においては、「業績の動きが分かりやすく説明されていること」が最も高い評価となった。これに関し、長期業績の推移のみならず、財務・非財務ハイライトにおいて、様々な統計数値を掲載し、当社の立ち位置を説明していることを評価する声や、グラフに簡易説明が添えられて理解しやすいとの声も寄せられた。また、「経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていること」がトップと僅差の同得点第 5 位であった。これに関し、中期経営計画の振り返りと進捗状況が記載され、確認しやすいとの声や、増加する自然災害や新型コロナウイルス感染症への対応を取り上げ、これらの取り組みを投資家に説明している姿勢を評価する声も寄せられた。

上記の**野村総合研究所、三井住友フィナンシャルグループ、東京海上ホールディングス**の 3 社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、これら 3 社を本年度の個人投資家向け情報提供における優良企業として選定した。

以 上

2020年度 個人投資家向け情報提供における評価比較総括表

(単位:点)

順位	評価項目 評価対象企業	総合評価 (100点)	1. 個人投資家向け会社説明会 の開催等		2. ウェブサイトにおける 開示等		3. 事業報告書等の内容	
			(配点 21点)		(配点 61点)		(配点 18点)	
			評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
1	4307 野村総合研究所	85.9	20.0	1	51.2	3	14.7	11
2	8316 三井住友フィナンシャルグループ	85.0	18.2	6	51.9	2	14.9	8
3	8766 東京海上ホールディングス	84.3	18.6	5	50.5	11	15.2	4
	評価対象企業(30社) 評価平均点	77.93	15.00		48.87		14.06	

経営方針、中・長期経営ビジョン
や業績動向の説明の分かりやす
さ等3項目

個人投資家向けサイトの有無
や、事業内容、各種説明会資
料の分かりやすさ等9項目

開催回数、社長等代表役員
の説明の有無等4項目

2020年度評価項目および配点(個人投資家向け情報提供)
【評価対象期間:2019年7月～2020年6月】

1. 個人投資家向け会社説明会の開催等 (21点)	配点
(1)過去1年間(前年7月から本年6月までの間)に個人投資家向け会社説明会を何回開催していますか。 [A.2回以上:2点、B.1回:1点]	2
(2)個人投資家向け会社説明会は、経営トップが説明を行いましたか。 [A.経営トップが行った:3点、B.経営トップ以外が行った:2点]	3
(3)個人投資家向け会社説明会の内容は、ウェブサイトに掲載されて誰でも閲覧できますか。 [A.配布資料に加え動画または音声で視聴できる:6点、B.配布資料の掲載のみ:3点、C.掲載なし:0点]	6
(4)ウェブサイトに掲載されている個人投資家向け会社説明会の内容は、分かりやすく(一般投資家に理解できるように)、かつ充実していますか。【個人投資家向け会社説明会に限定して評価】 [1点～10点の整数で評価。掲載なし:0点]	10
2. ウェブサイトにおける開示等 (61点)	配点
(1)IRに関するウェブサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して利用しやすく、かつ分かりやすく工夫されていますか。 [1点～4点の整数で評価]	4
(2)個人投資家向けサイト(個人投資家の皆様へ等の独立したサイト)が設けられていますか。 [A.あり:1点、B.なし:0点]	1
(3)個人投資家向けサイトは、探しやすさ・画面構成等にも配慮して、充実した内容であり、かつ分かりやすく工夫されていますか。また、IR情報のメール配信サービスなどの付加サービス機能を提供していますか。 [1点～6点の整数で評価。個人投資家向けサイトがない場合:0点]	6
(4)事業内容(主力商品、主力サービス等)や業界動向が具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(5)ウェブサイトに掲載されている各種説明会資料(個人投資家向け会社説明会資料およびその他掲載資料を含む)について	
A 業績の動きが、具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
B 業界動向が、分かりやすくまとめた資料を掲載するなど、具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
C 経営目標・経営戦略が、会社の強み(業界シェアや他社との差別化等を含む)や課題(ESG情報を含む)等を踏まえて、具体的に分かりやすく(一般投資家に理解できるように)説明されていますか。 [1点～10点の整数で評価]	10
(6)各種説明会(個人投資家向け会社説明会を除く)の内容はウェブサイトに掲載されて誰でも閲覧できますか。 [A.動画または音声で視聴できる:5点、B.資料のみ掲載:2点、C.掲載なし:0点]	5
(7)ウェブサイトに掲載のよくある質問と回答(F A Q)は、会社の事業内容や業績を理解するうえで、有益な質問項目が設定されている等全体的に充実し、分かりやすいですか。 [1点～5点の整数で評価。F A Qの掲載がない場合:0点]	5
3. 事業報告書等の内容 (注) (18点)	配点
(1)全体として、図表等を用いることや適切な文字の大きさにするなど、読み手が見やすく、かつ理解しやすいように十分な工夫がなされて作成されていますか。 [1点～6点の整数で評価]	6
(2)経営方針、中・長期経営ビジョンが分かりやすく、かつ簡潔に説明されていますか。 [1点～6点の整数で評価]	6
(3)業績の動きが分かりやすく(読み手が理解しやすいように)説明されていますか。 [1点～6点の整数で評価]	6

(注) 直近事業年度について、個人投資家が容易に取得可能な、事業・業績の概況について、分かりやすい解説を行っているIR関連資料(事業報告書、株主通信、アニュアルレポート、統合報告書等)の中で、会社側から提示されたいずれか一種類を評価対象とする。

個人投資家向け情報提供専門部会委員

部 会 長	西澤 隆	野村證券
部会長代理	堀内 敏一	岩井コスモ証券
	井場 浩之	SMBC 日興証券
	岩崎 利昭	水戸証券
	宇田川 克己	いちよし証券
	大坂 隼矢	野村證券
	大塚 俊一	いちよし証券
	大西 耕平	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
	金森 睦美	大和証券
	小松崎 直樹	丸三証券
	柴田 光浩	大和証券
	鈴木 晃	東海東京調査センター
	鈴木 英之	SBI 証券
	二宮 雅之	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
	山本 信一	岡三証券